

～保険金不正請求検知ソリューションの導入～

AI（人工知能）技術を活用した保険金支払業務の高度化について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）ならびにあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉恭三）は、フランスのスタートアップ企業であるシフトテクノロジー社（CEO：ジェレミー・ジェウィッシュ）との間で、今般、同社が提供する保険金不正請求検知ソリューション「フォース™」を導入することに合意しました。

「フォース™」は、膨大な過去の保険金支払データをAI（人工知能）技術により分析することで、不正の疑いがある請求を迅速かつ効率的に検知します。昨今、社会問題となっている不正請求の削減に向け、保険金支払業務の高度化を支援します。

三井住友海上ならびにあいおいニッセイ同和損保は、今後も、健全かつ安定的な損害保険制度を運営するため、適切な保険金のお支払いに努めていきます。

1. 「フォース™」の概要

(1) 運用開始時期

保険金システムの改修にあわせ、2019年4月以降段階的に導入します。

(2) 主な機能と期待される効果

膨大な過去の保険金支払データをAI技術により分析することで、不正請求と相関関係の高い事故データをリアルタイムにスコア化して検知します。

また、請求に関わる当事者等の隠れた関係性をネットワーク図にして可視化する機能も備えており、不正の疑いがある保険金請求を効率的に検知できるほか、これまで以上に迅速な保険金のお支払いを実現します。

(3) 実装方法

日本電気株式会社（社長：新野隆）が導入をサポートし、導入にかかるプロジェクト管理は、MS&ADシステムズ株式会社（社長：山内憲二）が担当します。

また、並行して、日本電気が提供する最先端AI技術群「NEC the WISE」を活用した業務効率化の検討も進めていきます。

2. 導入の背景

欧米やアジア等の諸外国では保険金不正請求の被害が大きく、社会問題となっているほか、日本国内でも組織的な犯行が増加しており、手口も複雑化・巧妙化しています。こうした中、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保は、健全かつ安定的な損害保険制度の運営に向け、保険金支払業務の高度化を図るべく、今般、シフトテクノロジー社が有するAI等の先進デジタル技術を活用した「フォース™」を導入することとしました。

(ご参考)

シフトテクノロジー社の概要

シフトテクノロジー社は、2014年にフランスで設立したスタートアップ企業です。2017年東京都が主催するフィンテック関連企業の誘致・育成を目的とした、アクセラレータプログラム「フィンテックビジネスキャンプ東京」に参加したほか、2018年1月には、東京都千代田区に日本法人を設立しました。同社が提供する「フォース™」は、世界17カ国で50社以上の保険会社・保険協会に採用されており、国内では、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保が初めて導入します。

以上

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社について

MS&ADホールディングスは、三井住友海上火災保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社などのグループ保険会社を有する保険持株会社です。グローバル市場での業界トップ水準の保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、「活力ある社会の発展と地球の健やかな未来」を実現する価値創造企業として、世界47の国・地域で事業展開しています。未来のあるべき姿を目指し、ステークホルダーの皆さまと、社会的な価値の共創に取り組んでいます。

当社グループのミッションである「安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来」を目指し、快適なモビリティやレジリエントなまちづくりの実現に取り組んでいます。社会と新たな価値を創造するために、最新の技術を駆使して、新しい時代の安心と安全をグローバルに提案していきます。 www.ms-ad-hd.com